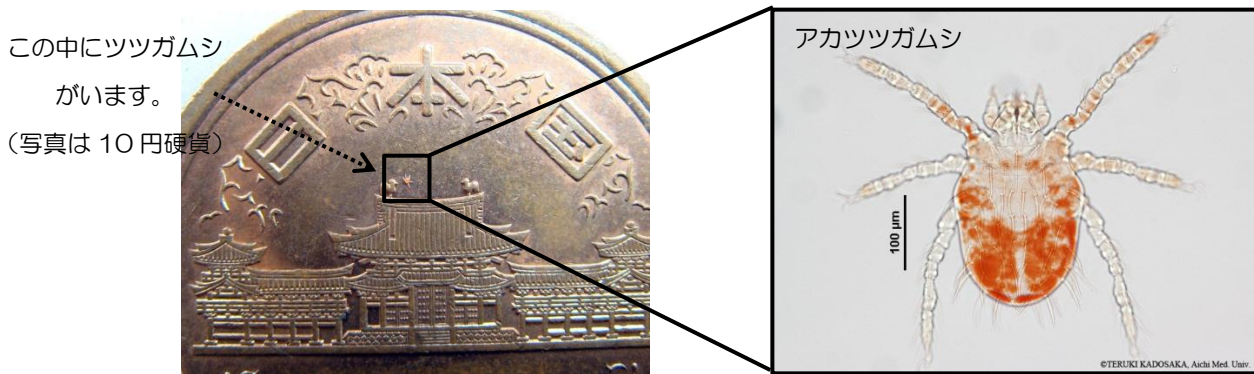


つつが虫病にご注意を！

■つつが虫病とは？

病原微生物を保有するツツガムシ※（ダニの一種）に刺された後、1～2週間後に発症する感染症です。ツツガムシは非常に小さく肉眼ではほとんど見えません。その為、衣類の隙間から入り込み、また刺された時の痛みもほとんどないと言われています。

※つつが虫病の原因となる微生物を保有するツツガムシは0.1～1%程度と考えられています。



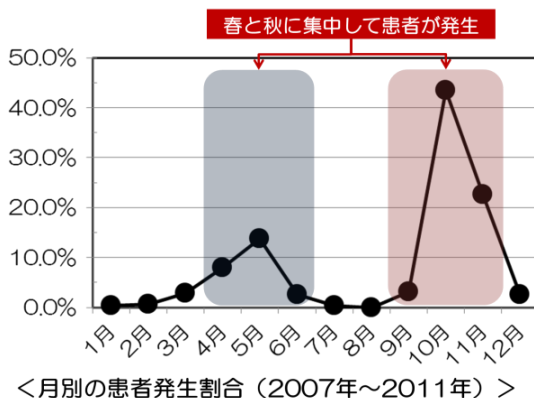
(愛知医科大学 角坂照貴講師より)

■どのような症状？

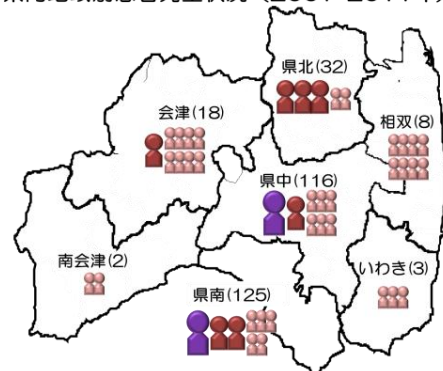
主な症状として「発熱」、「発疹」、「刺し口（刺された部位がカサブタに変化）」、「頭痛」、「倦怠感」、「肝機能障害」などがあります。治療には適切な抗菌薬の投与が必要ですので、出来るだけ早く医療機関（内科、皮膚科など）を受診しましょう。

■福島県では？

福島県は全国有数のつつが虫病の多発地域で、毎年50名前後の患者が発生しています。春（3～6月）と秋（9～11月）に患者発生のパークがあり、県内の様々な地域で患者が報告されています。



県内地域別患者発生状況（2007-2011年）



■予防、注意点は？

- (1) 一部の虫よけスプレー（対象害虫にツツガムシが記載されている製品）に効果が認められていますが、持続時間が限られるため小まめにスプレーしましょう
- (2) 野外作業後は速やかに入浴、着替えをし、皮膚に付着したダニを洗い落としましょう
- (3) 人から人へは感染しません